

2025年度 臨時JMRC四国運営委員会 議事録

開催場所：JAF 四国本部2階会議室

開催日時：2025年6月15日(日) 9:00～12:00

1. 開会宣言 金井運営委員長

2. 出席者確認 (○=出席・×=欠席・△=遅刻・▽=早退・?=無届欠席)

佐藤 (○) 金井 (○) 板東 (○) 萩原 (○) 平尾 (○) 松原 (×)

和田 (○) 高木 (○) 徳永 (○) 八塚 (○) 尾崎 (○) 武政 (○)

(出席11名・欠席1名・遅刻0名・早退0名・無届欠席0名)

JAF香川支部 事業課 本田事業係長

3. 議長選任 金井運営委員長

4. 議事録作成者 平尾

5. 配布資料確認 (事前のメール配信を含む)

①議事進行表

②JAF 四国地域クラブ協議会規約の改訂案

③吉野川グラベルサーキット (GC) 運営に関する意見まとめ

④JMRC 全国ラリー振興事業委員会資料

④マイナンバー免許証読み取り結果

6. 前回議事録の確認

(案) で問題なし→HPに掲載済

7. 審議事項

①JAF 四国地域クラブ協議会規約の改訂について

前回までの改訂案に対する和田委員の修正案を検討した。

今回の検討を加えた改定案を和田委員が再度作成し、委員にメールで送付し、再度検討する。

②吉野川グラベルサーキット (GC) について (別紙参照)

JAF 公認コースに必要な計時。審査委員室用のプレハブ購入費100万円を提供する。

プレハブの所有はJMRC四国とし、同コースを使用する他のイベントに対して有償で貸し出すことを検討する。

使用料30万円(予定)の内、現状の香川スポーツランドの使用料15万円を考慮し、JMRC四国が15万円を主催者に補助する。

ただし、補助をする期間を2年間に限定し、その間に、今後の運営について協議を続ける。

西日本フェスティバルや全日本選手権の開催、近畿地区との連携を今後も検討する。

③JMRC 共済について

四国は今後もスポーツ安全保険で対応していく。

④マイナンバー免許証について

参加者が現状の免許証も所持し、主催者に提示できるように対応する。

⑤その他

- ・次回のカレンダー調整会議等の日程は、全日本選手権等の開催日の決定を待つため、当初の8/17から8/31に変更を検討する。(会場等の確認)

8. 次回開催予定日及び会場確認

日時：2025年8月31日（日） 9：00～12：00 運営委員会
13：00～16：00 クラブ代表者会議
及びカレンダー調整会議

会場：愛媛県紙産業センター 会議室

9. 閉会宣言

金井運営委員長

以上

別紙

吉野川グラベルサーキット（吉野川 GC）支援について

現在、四国地区のダートトライアル競技は、長年使用してきた「香川スポーツランド」を主たる開催地としているが、近年、コースオーナーの高齢化により維持管理が困難となり、その整備を主催クラブが担う状況が続いている。また、JAF 公認コースとしての更新も困難となっており、競技継続の大きな障害となっている。

そのような状況下、徳島県三好市三野防災公園にて、TGR ラリーのギャラリーステージとして使用されたダートコースについて、当該コースの管理・修繕を行っているラリークラブつるぎ・中岡代表より、ダートトライアル専用コースとしての活用が提案された。本コースは、地元自治体（三好市）の全面的な協力のもと整備が進められており、今後の開催地として有望であると判断される。

香川スポーツランドは数年前から、コースの老朽化や整備体制不安定などが運営委員会でたびたび議題にあがり、このままではダートトライアル競技の存続が懸念されていた。参加者の減少も大きく、その原因の一つとしてコース劣化が挙げられている。部会や主催者の努力にもかかわらず、今やシリーズ存続の瀬戸際にある。そんな中、数年前から運営委員会に中岡代表から活用の提案のあった三好市のコースは、3 年間 TGR ラリーを開催してきた実績があり、知名度も上がってきている。また、四国の中心に位置しており、交通アクセスも良い場所にある。

これまでに JMRC 四国運営委員会において何度か協議していく中、中岡代表が徳島県三好市三野防災公園のコースを「吉野川グラベルサーキット」と命名し、管理・運営することが分かった。その中で、この事業に対して 2 年以内に全日本ダートトライアル選手権を誘致することとし、その収益等を活用して、コースの運営を軌道に乗せたいと考えているが、それまでのリスクが高いことから、JMRC 四国に費用面の協力をしていただきたいとの要請があった。具体的には、JAF 公認コースに必要なインフラ（水道、トイレ、計時・審査委員会室など）の設備工事に約 500 万円かかる内、プレハブ購入費として 100 万円の補助をいただきたいというものです。

運営委員会としては、JMRC 四国の運営資金が毎年 30 万円程度不足してはいるものの、全国共済制度が無くなり、スポーツ安全保険に完全移行したことにより生じた共済積立残金約 800 万円を、四国のモータースポーツが衰退する懸念を少しでも払拭するために有効利用したいという考えから、要請を受け、プレハブ購入費として 100 万円を提供する

また、現在ダートトライアルのエントリー台数が少なく主催者の収益が見込めないため、2026 年・2027 年の 2 年間は、コース使用料（30 万円の予定）を 1 戦あたり 15 万円補助することにした。

これが、今後、ダートトライアル部会を中心に西日本ダートフェスティバル、全日本選手権、他地区のシリーズ戦などの誘致を積極的に行い、吉野川グラベルサーキットの知名度を上げ四国のダートトライアルやラリーなどのモータースポーツ競技人口増加につながるものと考えている。

なお、この件については、JMRC 四国登録クラブの皆様にご理解とご賛同をいただくことが必要であると考え、8月のクラブ代表者会議において決議をいただくこととした。

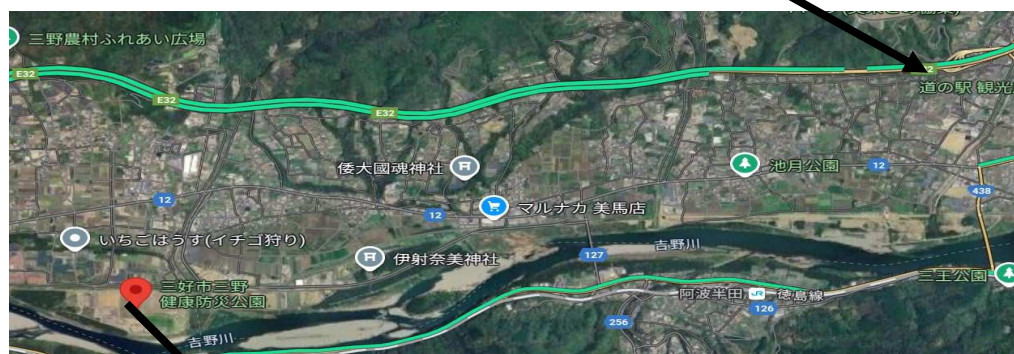
【支援案の概要】

- 1 計時審査委員室（プレハブ）施工費の提供
JMRC 四国から 1,000,000 円を提供する。
プレハブの所有は JMRC 四国とし、同コースを使用する他のイベントに対して有償で貸し出すことを検討する。
- 2 主催クラブへの使用料助成（期間限定）
コース使用料は 1 戦あたり 300,000 円（中岡代表提示金額、コース整備を含む）
エントリー数の実情を考慮し、2 年間にわたり（150,000 円）を助成
（香川スポーツランド貸し切り料金 15 万円を超える 15 万円分相当）
年間 5 戦 × 150,000 円 = 750,000 円 / 年 × 2 年間 = 1,500,000 円

【総支援額（予定）】

項目	金額
プレハブ購入資金	1,000,000 円
使用料助成（2 年分）	1,500,000 円
合計	2,500,000 円

近隣図



コース予定地

